

広報 

# いいたて 10

令和元年10月号  
No.668

すっかり  
秋めいてきた  
いいたてです

特集

ラオスからパラアスリートが来村！



大いなる田舎  
までいライフ  
いいたて

[www.vill.iitate.fukushima.jp](http://www.vill.iitate.fukushima.jp)

小さな国際交流 までの里のこども園

園庭の横を通りかかった選手の皆さんが園児と触れ合ったひとこまです。



ようこそ  
ラオスの  
皆さん

# ラオスからパラアスリートが来村！

村は、今年6月、ラオス選手団の事前合宿などを受け入れる本来のホストタウンとしても登録を受け、今回初めて、9月10日から19日の日程で、パラ水泳選手団の合宿を受け入れました。選手団は連日、学校エリアの屋内プールで練習し、その間に、さまざまな交流も生まれました。

飯館村は、東京オリンピック・パラリンピックで、ラオスの「復興」がありがとう「ホストタウン」を務めます。これは内閣官房東京オリパラ推進本部が進める新しいプロジェクトで、「復興」『ありがとう』ホストタウン」となる被災地の自治体が、支援を受けた国や地域と、本大会の前後に交流します。

## ラオスの選手団が村で初めての合宿

ようこそ  
ラオスの  
皆さん



飯館村の感謝と前進を伝える「広告付年賀はがき」。3回目となる今回のはがきは「子どもは村のたからもの！」をテーマに制作されました。県内の郵便局で11月1日から販売されます。新年のごあいさつに、ぜひご活用を！

### お求めは県内の郵便局で

この年賀状についてのお問い合わせは  
総務課企画係  
☎0244-42-1613



広告付年賀はがきは1枚につき5円お得な58円。県内各地の郵便局（簡易郵便局を除く）で販売されます。枚数に限りがありますので、お早めにお求めを！

「心を耕し 夢をはぐくむ」ステキな村の子ども達を紹介しています。



## CONTENTS 目次

- 3 特集 ラオスからパラアスリートが来村！
- 8 報告のページ 9月議会定例会
- 10 報告のページ 平成30年度決算報告
- 14 飯館百景 村民グラウンド・ゴルフ交流会
- 16 シリーズ復興対策課 vol.2 農地の再生
- 18 教育委員会NEWS! 全国学力・学習状況調査 ほか
- 20 生涯学習のページ 「未来への翼」北欧研修
- 21 教育のページ キッズアスレティックスで交流 ほか
- 22 ほけんとふくし 飯館村敬老会
- 23 ほけんとふくし 食生活を見直そう！
- 24 いいたて便り
- 26 話題のパレット
- 27 そのころはっ ほか
- 28 おしらせのページ 9月のできごと ほか
- 29 入札結果
- 30 きてみて /ラオス通信。
- 31 こころのぼけっと / ひとのうごき
- 32 ホープス / 編集後記

秋の日差しにきらめく黄金の稲穂。手前の畑で、母親のサダさんが育てた菊の花を見ているのは、この水田を耕作する青田豊実さん（前田）です。稲刈りに合わせて青田さんの挑戦を取材中。この話題は、次号に続きます。



●表紙のおはなし●



練習の合間を縫って役場を表敬訪問した選手団。職員が拍手で出迎えました。

**パラ水泳選手団の合宿が始まった！**

選手団は、10日に村に到着し、宿泊体験館「きこり」で歓迎に参加。長旅の疲れがある中、村の関係者と対面し、笑顔で自己紹介などを行いました。また、11日には村役場を表敬訪問。シビサイ団長が「村のサポートに勇気づけられます」と感謝しました。

来村したのは、7人の選手と、コーチや関係者で、選手のうち2人は、合宿後に出場する「2019ジャパンパラ水泳競技大会」に向けて、その他の強化選手は、来年1月の国際大会出場を目指して、この合宿に臨みました。

ラオスでは、プールの数が十分でないこともあり、練習環境が限られているそう。チームに参加するまでは川で泳いでいたという人もいました。「練習に集中できることがうれしい」と、選手は全力で強化に取り組んでいました。

ようこそラオスの皆さん



学校エリアの屋内プールを使って連日の泳ぎ込み。パラアスリートは個々の身体に合わせた泳ぎ方を工夫します。ADDP（NPO法人アジアの障害者活動を支援する会）から派遣されたパラ水泳専門の指導者・小木曾充さん（プールサイド左から3人目）がコーチを務めています。

# ラオスと飯舘村の物語

ドンチャイ村と深めてきた友情「お互い様」の交流がありました



ドンチャイ村の学校に通う子ども達（平成30年2月撮影）

## ドンチャイ村とのあたたかな交流

平成21年、認定NPO法人「アジア教育友好協会」の出前講座で、村の小学生が、ラオスの人々の心の豊かさ、十分ではない教育環境について学んだことがきっかけでした。村では小学生を中心に、「ラオスに学校を贈ろう」と募金活動やふるさと納税の呼びかけが始まり、集まった寄付金は、校舎の建設費用として、ラオスのドンチャイ村に贈られました。

そうして交流が育まれていた矢先に起きたのが、東日本大震災でした。ドンチャイ村の皆さんは、飯舘村のために祈り、米や鶏をお金に替えてまで寄付を出し合い、人づてに村に送ってくださいました。

今回飯舘村がホストタウンを担う前提には、そうした交流の軌跡があるのです。



1. 村が贈った校舎が完成したのは震災後の平成24年。新校舎の開校式で、飯舘村を励まそうとドンチャイ村の皆さんが鯉のぼりに寄せ書き。
2. 学校には村の名前を記した門があります。
3. 平成28年には、ドンチャイ中学校の卒業生が来村。村に感謝を伝え、中学生と交流しました。

### ホストタウン活動とは？

ホストタウンとなった自治体は、2020年東京オリンピック・パラリンピックに参加する国・地域の人々と、スポーツ・文化・経済などの分野で交流し、その成果を地域の活性化に生かしていきます。

※ホストタウンに登録されると、特別交付税措置として、国から、交流活動の1/2の支援が得られます。

村は「復興『ありがとう』ホストタウン」及び「ホストタウン」としてラオスと交流する予定で、関係機関と調整を進めています。



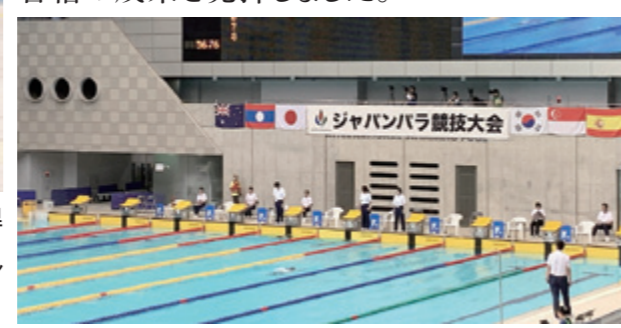
応援と交流を続けていきます

合宿の終盤、9月18日には、ラオスパラリンピック委員会のブンナック副委員長(上の写真左から3人目)らが来村。飯館村は、同委員会と、今後の事前合宿や交流事業について覚書を取り交わしました。

また、合宿直後の21日から横浜国際プール(神奈川県横浜市)で開催された「2019ジャパンパラ水泳競技大会」に出場したランポーン選手とヴォンラチット選手は好成績を収め、合宿の成果を発揮しました。



100m自由形で銀メダルを獲得し観客席に手を振るランポール選手。右は大会会場の様子



選手団の皆さんは、気さくでいい方ばかりでした。ラオスでは、働きたり、さまざまな制約がある中で練習を重ねていて、合宿の環境をとて喜んでくれました。合宿を受け入れるにあたり、言葉の壁が心配されましたが、身振り手振りでコミュニケーションができて、冗談も通じるんですね。スポーツを通じた交流の楽しさ、素晴らしいと感じました。来年はいよいよ東京オリンピックパラリンピックの年。選手団の皆さんには、ぜひ出場権を獲得してほしいです。村としては、今回のつながりを生かして、応援と交流を続けていきたいと考えています。



ホストタウン活動 担当 総務課企画係 庄司伸也 ※右はヴォンラチット選手



1.ラオス国旗を手に歓迎する中学生。2.ふるさと学習の様子を見学。3.給食の時間ラオス語の「いただきます」に笑顔がこぼれました。4.ラオスの皆さんからプレゼント。幸運をもたらす手づくりの「チャーム」を手首に巻いてもらいました。

「ふるさと学習」の一環として、「ホストタウンプロジェクト」を展開し、ラオスとの交流の準備を行ってきた飯館中学校。その成果を生かした歓迎が、選手団の心を和ませました。菅野沙菜さん(3年)は、英語でスピーチ。プロジェクトの歩みを紹介し、歓迎の言葉を述べました。ラオスのことを学び、交流の方法を工夫してきた中学生の気持ちは、選手団にしっかりと届いたようです。交流後の選手のコメントを一部紹介しましょう。「中学生との交流楽しかったなあ。パトウーサイすごいです。ありがとう飯館」。「中学生の活動に心を動かされました。おいしいスムージーもありがとう」。



ラオス料理にもよく使われるパクチーの風味を生かしたスムージーでおもてなし。「とてもおいしい」と大好評で、生徒が大急ぎでおかわりを用意する一幕も。

ホストタウンプロジェクト@飯館中学校

# 令和元年 第7回 飯舘村議会定例会



令和元年9月議会定例会は、9月3日から18日までの日程で開かれました。一般質問は5、6日に行われ、村議員が村政の重要な課題等について村側の考えを質しました。議会審議は18日に行われ、提出された議案は追加議案を含めて全て原案どおり可決されました。

## 今議会で可決された議案等

(紙面の都合上、一部省略しています)

- 令和元年度一般会計補正予算
- 令和元年度介護保険特別会計補正予算
- 平成30年度一般会計歳入歳出決算認定について
- 平成30年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 平成30年度簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 平成30年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 平成30年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 平成30年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

## 飯舘村立義務教育学校設置条例

職員の特種勤務手当に関する条例の一部を改正する条例  
職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例  
職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

## 飯舘村介護福祉条例の一部を改正する条例

被災地域農業復興総合支援事業効果促進事業 飯舘村ライオンセンター等用地造成工事請負契約について

## 農業用機械の取得について

消費税率等の引き上げに伴う関係条例の整備に関する条例

災害関連農村生活環境施設復旧事業・福島再生加速化交付金事業農業集落排水管路工事(草野第1地区・草野1期②) 請負契約の変更について

教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

## 村長村政報告

(紙面の都合上、一部省略しています)

帰還困難区域における応急仮設・借上げ住宅の無償提供期間の終期について

昨年、県が令和2年3月末で無償提供期間の終了を決定していますが、この度、県が新たに福島第一原発プラントの立地自治体である大熊町と双葉町については、自治体の大部分が帰還困難区域であるため、両自治体に限り令和3年3月末まで1年間延長する決定がされました。なお、その他の帰還困難区域は、令和2年3月末までに無償提供期間が終了することになります。特別な事情(住宅新築やリフォームなど)で退去できない場合に限り、時期を特定した上で、最長令和3年3月末まで延長できます。本村の帰還困難区域である長泥地区の住民には、説明をしていますが、再度機会をとらえて周知徹底を図り、無償提供期限までに遺漏のないよう対応していきます。

## 長泥地区環境再生事業の現状について

本事業施行にあたっての放射線安全性の検証方法ですが、土壌中放射能濃度の測定の際、放射能濃度分別機の投入前と分別後、5000ベクレル未満と5000ベクレルを超えるものに分別し、5000ベクレル未満のものを利用しています。また、測定の際には環境省、業者など関係者のみでなく、地元住民や学識者などによる確認も行います。

帰還困難区域内の活動等については、現在厳しい制限がされており、地元住民からはもともと弾力的な運用を求める声が出されています。環境省によれば、長泥地区については、現在年間積算線量が20ミリシーベルトを下回っているため、不必要な制限(防護服、ヘルメット、長靴など)は可能な限り取り除く方向で関係省庁と協議し、弾力的な運用を図っていく方針が示されました。

## 福島第二原子力発電所廃炉決定

8月2日、東京電力小早川代表執行役社長が来庁し、福島第二原子力発電所の廃炉について、執行役員会にて正式に決定をした旨の報告がありました。

## おかえりなさい補助金

帰村の届を出されている576世帯の内、8月1日現在535件の申請が出されています。

## 農政関係

昨年度7件の畜産農家が、7月末までに和牛の肥育・繁殖一貫経営1件、乳牛の育成経営1件を含む9件になり、村内で飼養されている牛も、繁殖雌牛約220頭、肥育牛23頭、乳牛の育成牛22頭までに増加しました。また、カスミソウは、2地区5件から、30代の若手農家2件を含む5地区10件まで生産者が増加し、6月から始まった出荷が最盛期を迎えています。

## 有害鳥獣被害対策

7月までにイノシシ177頭を駆除しました。また、村内で農業に携わる方の圃場については、ご希望に応じて順次、電気牧柵等の導入を進めているところです。

## いたてプレミアム付商品券

7月末までに、村民や村内事業所に勤務している方に5598冊を購入いただきました。更には、この交付金を活用したイベントとして、8月11日にいたて村の道の駅までい館にて、村商工会青年部主催のいたて夏祭りを開催しました。までい牛のふるまい、餅まきや、村の団体によるよさこいのパフォーマンスなどが行われました。

## いたて村の道の駅までい館

いたて村の道の駅までい館の状況ですが、平成29年8月12日にオープンしてから7月末までのレジ客数は、までい館が92755人、セブンイレブンが26万5098人です。

## 学校教育関係

7月17日、第2回目の義務教育学校開校準備委員会を開催し、校名候補を選定しました。

選定にあたっては、6月5日から25日の期間に応募いただいた133件の校名を参考に、新しい学校にふさわしい校名候補を委員会と協議し、「飯舘村立いたて希望の里学園」を選定しました。

## 生涯学習関係

7月21日から24日に、沖縄までの旅を実施しました。今年から小学5年生も対象とし、56年生33人が参加しました。8月13日から8月20日に、未だへの翼北欧研修を実施しました。昨年からの参加者の枠を広くし、今までの中学生に加え、これから村を背負って立つ30代・40代の若手村民、スタッフの職員併せて、18人が参加しました。中学生はホームステイを体験して一回り大きくなって帰ってきました。

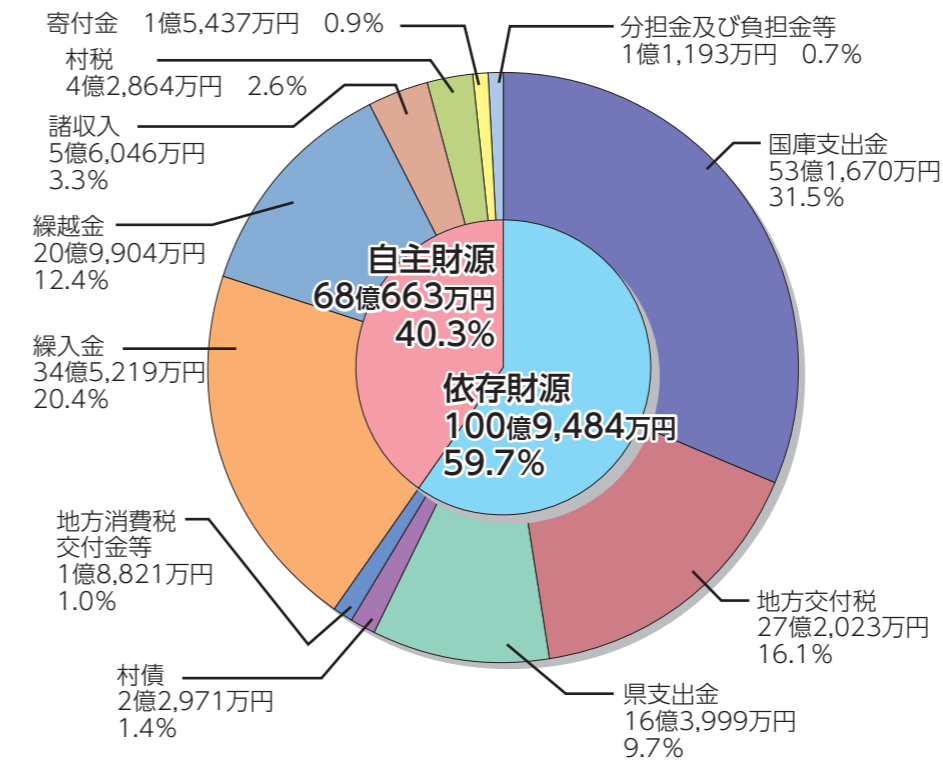
# 平成30年度 飯館村 決算報告

飯館村における平成30年度各会計決算がまとまり、9月定例議会で9月17日に行われた議案審議において承認されました。本村の一般会計歳入総額は169億147万円、歳出総額は160億4213万円、8億5934万円の黒字決算となりました。

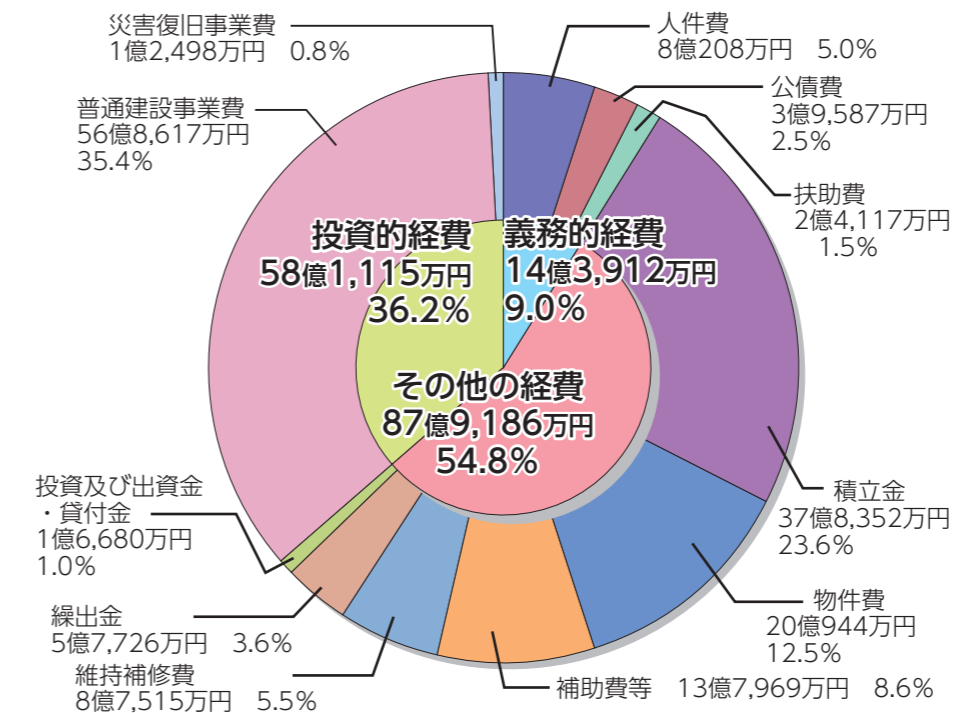
昨年度に比べ、歳入は33億1728万円減額、歳出は16億7757万円減額となりました。減額の原因は、歳入での福島再生加速化交付金、震災復興特別交付税等の減少。歳出では、スポーツ公園整備工事、道の駅「まじい館」建設工事、陽はまた昇る基金元金積立金等が減少しました。昨年度の村政の動きと、一般会計・特別会計の主な内容等をお知らせします。

(金額は端数処理をし、万円単位にしています)

## 歳入 169億147万円



## 歳出 160億4,213万円



平成30年度に  
村民1人あたりに使われたお金  
(10円未満四捨五入)

### 286万6,710円

※一般会計目的別歳出決算額  
160億4,213万円  
人口5,596人(平成31年4月30日現在)

**総務費**  
村全般企画・管理に



1人あたり  
**100万3,520円**

**教育費**  
学校教育の充実に



1人あたり  
**64万940円**

**農林水産業費**  
農業復興のために



1人あたり  
**55万2,380円**

**土木費**  
道路や橋の整備に



1人あたり  
**24万9,740円**

**民生費**  
福祉増進のために



1人あたり  
**18万7,490円**

**衛生費**  
清掃・予防衛生に



1人あたり  
**7万7,210円**

**公債費**  
借入金の返済に



1人あたり  
**7万740円**

**商工費**  
企業立地支援などに



1人あたり  
**4万1,970円**

**消防費**  
消防・防災に



1人あたり  
**2万7,090円**

**議会費**  
議会運営などに



1人あたり  
**1万2,460円**

※その他(災害復旧費・諸支出金・労働費)……1人あたり **3,170円**

### 村各特別会計の決算状況 ※( )内は前年比

#### 国民健康保険特別会計

歳入：11億8,780万円 (17.2%減)  
歳出：11億 815万円 (19.3%減)

#### 介護保険特別会計

歳入：11億 50万円 (6.0%増)  
歳出：10億7,097万円 (13.1%増)

#### 簡易水道事業特別会計

歳入：1億2,551万円 (36.9%減)  
歳出：1億2,521万円 (36.9%減)

#### 介護サービス事業

歳入：565万円 (2.5%減)  
歳出：565万円 (2.5%減)

#### 農業集落排水事業特別会計

歳入：1億5,422万円 (48.6%増)  
歳出：1億5,392万円 (48.7%増)

#### 後期高齢者医療特別会計

歳入：3,142万円 (10.9%増)  
歳出：3,092万円 (9.1%増)

# 数で見る村の状況

震災後の村の推移をお知らせします。

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
人口(3月末時点)	6,581人	6,453人	6,335人	6,341人	6,319人	6,262人	6,204人	6,013人	5,807人
出生数	51人	37人	51人	48人	65人	50人	57人	47人	42人
死亡者数	89人	93人	86人	79人	81人	85人	89人	109人	95人
メモリアルホールいいたて利用件数(法要含む)								6	22
園児、児童、生徒在籍数	679人	460人	401人	375人	336人	301人	233人	139人	103人
ふるさと納税									
件数		12件	6件	12件	19件	9,611件	6,224件	4,257件	3,324件
金額		420,000円	1,230,000円	2,981,451円	2,259,000円	371,398,901円	240,621,406円	202,039,090円	105,396,000円
義援金									
件数	80件	1,243件	453件	353件	291件	201件	181件	144件	116件
金額	20,854,353円	290,498,881円	28,986,913円	16,898,873円	38,821,390円	24,301,279円	10,099,182円	12,351,441円	3,559,896円
いいたてっ子未来基金									
件数		3件	140件	176件	207件	140件	100件	151件	132件
金額		275,008円	39,783,376円	39,065,597円	28,307,277円	10,391,371円	32,422,195円	20,726,480円	20,090,116円
イノシシの捕獲数	10	0	59	221	100	215	509	232	650
サルの捕獲頭数	0	0	4	8	5	13	18	21	27

## 村役場職員の給与などを公表します

飯館村人事行政の運営等の状況の公表に関する条例に基づき、人事行政の運営等の状況について公表します。 **問** 総務課総務係 (☎ 0244-42-1611)

### ○職員数の状況(各年4月1日時点)

		職員数		対前年増減数	
		平成30年	令和元年		
普通会計部門	一般行政部門	議会	2	2	0
		総務	18	20	2
		税務	5	5	0
		民生	9	8	-1
		衛生	10	9	-1
		労働	0	0	0
		農林水産	6	6	0
		商工	3	2	-1
		土木	6	6	0
	計	59	58	-1	
教育部門	10	10	0		
小計	69	68	-1		
公営企業等会計部門	その他	6	8	2	
小計	6	8	2		
合計		75	76	1	

### ○職員の平均年齢、平均給料月額(平成30年4月1日時点)

平均年齢	平均給料月額
40.5歳	323,241円

### ○職員の初任給の状況(平成30年4月1日時点)

一般行政職	大学卒	18万700円
	高校卒	14万8,600円

### ○人件費の状況(普通会計平成30年度決算)

住民基本台帳人口(平成31年1月1日)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A
5,704人	160億4,213万円	5億4,676万円	8億208万円	5.0%

\*職員数は、一般職(嘱託職員及び臨時職員を除く)に属する定員管理上の職員数です。  
\*人事行政の運営等の状況について、詳しくは村ホームページをご覧ください。

## 新しい村に向かって ~平成30年度に実施した主な施策~

平成30年度一般会計決算額の中で、復旧・復興事業に要した歳出総額は131億6,922万円で歳出全体の約8割を占めました。平成30年度に村が行った主な施策について、紹介します。

### 深谷地区復興拠点整備事業

… 3億3,984万円



### 福島県営農再開支援事業

… 6億5,633万円



### 学校等再開整備事業

… 22億2,953万円



### スポーツ公園整備事業

… 7億5,410万円



## 飯館村の財政状況指標

平成30年の決算を基に、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定による村の財政状況を公表します。平成30年度健全化判断比率等を算定した結果、4つの指標において早期健全化団体や財政再生団体となる基準を下回りました。このことから、本村の財政状況は健全な状態にありますが、引き続き、適正な財政運営に努めます。

健全化判断比率	早期健全化基準 ※基準を下回るほど健全	飯館村の財政状況
一般会計での赤字の程度 (実質赤字比率)	15%	算定なし
全会計での赤字の程度 (連結実質赤字比率)	20%	算定なし
財源の中で借金返済額の占める割合 (実質公債費比率)	25%	5.9%
全会計を対象に、一般会計などが将来負担する借金の財政規模に対する割合 (将来負担比率)	350%	算定なし

# 飯舘 百景

## 村民グラウンド・ゴルフ スポーツ交流会

グラウンドの緑が、青空に映えます。互いに声援し、冗談を言っては笑い合う参加者の皆さん。なごやかにホールを回り、交流会でのプレーを楽しんでいました。



8月25日、いたてスポーツ公園で、第8回「村民グラウンド・ゴルフスポーツ交流会」が開催されました。第16回「飯舘村老人クラブ連合会グラウンド・ゴルフ大会」を兼ねた開催です。

この交流会は、平成24年、全村避難の中、福島市飯野町の飯野野球場で、初めて実施されました。当日は、それぞれの避難先から、大勢の村民が会場に集

い、プレーを通じて仲間との再会を喜び合ったそうです。

それから毎年、年に一度の開催を重ねて、昨年の第7回からは、いたてスポーツ公園が会場となりました。

今年の交流会にも、元気な笑い声が響いていました。約100人の参加者が、16ホールストロークマッチの男女別個人戦で、スコアを競いました。

### 大会結果

- 男子の部**
- 優勝 長澤茂さん（大倉）
  - 準優勝 青木香一さん（大久保・外内）
  - 第3位 井上幸吉さん（前田）
- 女子の部**
- 優勝 杉浦オナスさん（伊丹沢）
  - 準優勝 庄司イネ子さん（関沢）
  - 第3位 中島友子さん（比叢）





## 鳥獣被害対策に力を注いでいます

### イノシシ・サルから農作物を守る

電気牧柵、ワイヤーメッシュなどを供給し、鳥獣の被害防止対策を支援しています。



鳥獣被害対策実施隊では、平成22年度から昨年度まで、イノシシ1,996頭、サル96頭を駆除しています。

これまで村内に張られた電気牧柵を全部つなげると、総延長は754km！その長さは何と、村から京都府京都市までの道のりに相当します。

### 鳥獣被害対策実施隊が活躍

「飯館村鳥獣被害対策実施隊」が、イノシシ・サルなど農地を荒らす有害鳥獣の駆除を行っています。現在の隊員は20人。週3回村内のパトロールを行い、ワナを仕掛けて駆除を行います。農政第二係では、隊員の訓練や活動を支援しています。

※菅野隊長は、パトロールをしていて、「屋外にエサになるものを置かない」という注意がよく守られていると感じています。今後も引き続き、皆で協力して注意をはらっていきましょう。

週に3回、2人1組でパトロールをしています。隊員は、村民の暮らしを守りたい、村の要請に応えたいという思いで、みんな一生懸命にやっています。



飯館村鳥獣被害対策実施隊 菅野満郎 隊長（深谷）

## 農政第二係から

農政第二係は、平成30年度から設けられた新しい係です。政府が定めた「復興・創生期間」が来年1年間で満了することを見込んで、保全管理方法の見直しや、営農再開への支援を、農政第二係と連携して行っていきます。村民の皆さんの「やる気」に応えていきます。



農政第二係 高橋由文係長

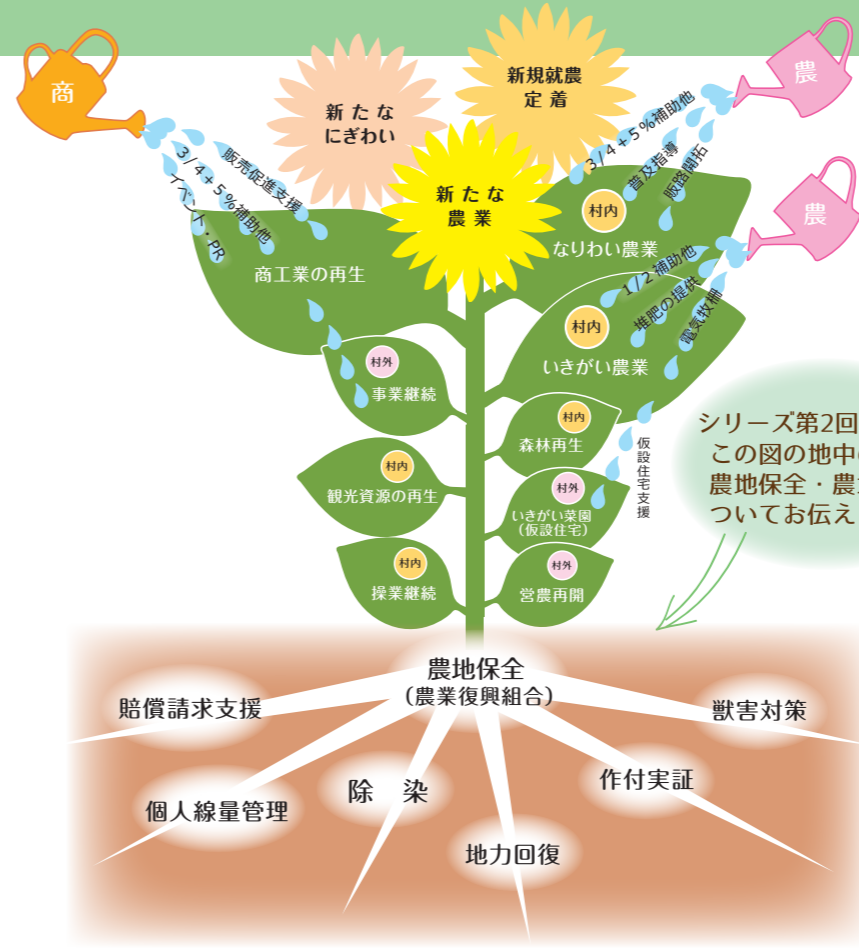
## 放射線対策を推進しています

### つくった野菜の簡易測定

つくった野菜を安心して食べられるよう、切り刻まなくとも測定ができる非破壊式放射能測定器を、村内10か所に配置しており、場所ごとに曜日を決めて測定しています。※簡易な検査ですぐに測定結果がわかりますが、証明には利用できませんのでご注意ください。

個人線量計などの貸し出しも行っていきます。

平成29年度までに放射能測定器10台を約5,200万円で購入しました。



シリーズ第2回の今回はこの図の地中の部分、農地保全・農地再生についてお伝えします。

農政第二係は、除染後の農地の地力回復や、鳥獣被害対策に取り組み、農政第一係と連携しながら、村民の営農再開や農地保全をバックアップしています。また、旧除染対策係の業務を引き継ぎ、村内の線量モニタリングなどを継続している他、環境省の各種事業にも対応しています。

## 保全と地力回復 そして農地の再生へ

### 農地の再生を地域と共に

各行政区の農業復興組合が行う、農地の草刈り、耕起などの作業、緑肥となる景観作物の栽培（下記参照）などに、補助を行っています。全村避難を経て、遊休地となっている農地の保全は大きな課題。それぞれの実情に合わせた取り組みを、地域と共に進めています。



クリムゾンクローバー (関根・松塚)

地力を回復するために農地で栽培される景観作物。菜の花、ポピー、ヒマワリと、季節ごと地域ごとに、さまざまな花畑を観ることができるようになりました。花が終わると土にすきこまれ、緑肥となります。

### 農地の再生へ 堆肥を供給

営農を再開する人へ、堆肥の供給を行っています。堆肥は、村が購入したものを、10aあたり1tを基準に、無料で供給しています。



平成27年度から今年9月までの堆肥の供給量は約3,733tです。

今年度の予算も含めるとこれまで15億円をかけて村内1545haの農地の保全管理を行っています。

連載

## 復興対策課の挑戦

### Vol.2 農地の再生

かつてない課題に向き合い、村の再生にまい進してきた8年半の軌跡を、復興対策課の取り組みにスポットをあて、シリーズで振り返ります。

## 令和元年度「全国学力・学習状況調査」の結果から

平成31年4月に全国学力・学習状況調査が行われました。この調査の目的は、児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、今後の教育活動に役立てていくことです。村教育委員会では、調査結果から、飯館の子ども達によさや課題を把握し、子ども達の確かな学力を育むことを目指します。

### 教科に関する調査の結果から

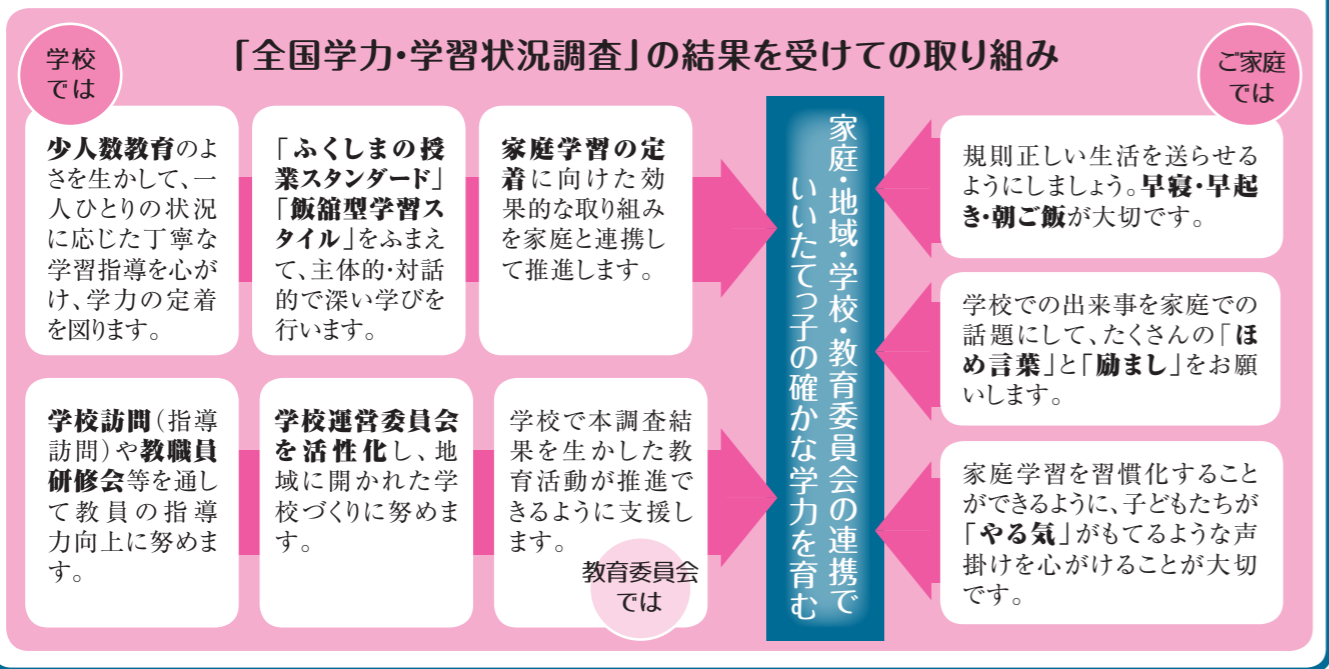
教科	よくできている所	課題となっている所
小6国語	話し手の意図を捉えながら聞く。自分の理解を確認するために質問をする。	図表・グラフの読み取り方や目的に応じた効果的な使い方。
小6算数	図形の性質を理解して他の図形を構成する。	減法、除法の意味を理解し、その性質を活用する。
教科	よくできている所	課題となっている所
中3国語	封筒の書き方。論の展開にふさわしい語句や文の使い方。	相手に分かりやすく伝えるための表現の工夫。
中3数学	図形領域。平行移動の意味の理解。確率の求め方。	関数領域。問題解決の方法を数学的（論理的）に説明する。
中3英語	日常的话题についてそのあらすじと内容を理解する。	まとまりのある英語を聞いて、必要な情報を整理する。

### 質問紙調査に関する調査の結果から

関連項目	よくできている所	課題となっている所
学校生活 関連	各教科に対する関心 話し合い活動への積極的な参加 授業で学んだことを他の学習に生かすこと	読書時間 地域行事への参加
家庭生活 関連	自分で計画を立てて学習すること 朝食摂取率	家庭学習時間の個人差

### 「児童・生徒質問用紙」と「教科に関する調査結果」とのクロス集計から(小6・中3)

関連項目	クロス集計で見られるよい傾向の一例
学習習慣	家で自分で計画を立てて勉強している子どもは正答率が高い傾向が見られる。
生活習慣	朝食を毎日食べている子は正答率が高い傾向にある。
家庭や地域との関わり	地域や社会で起こっているできごとに関心がある子は、正答率が高い傾向にある。 家庭で学校の話題を多くする子は、正答率が高い傾向にある。



# 開校への動きと 全国学力調査の 結果を報告します



## 「いいたて希望の里学園」正式決定

義務教育学校の来年4月の開校と校名を定める条例が、9月議会定例会で議決され、校名「いいたて希望の里学園」が正式に決定しました。

新しい学校の校章と校歌の制作も進められており、準備委員会で決定次第、紙面でお知らせいたします。

## 新しい校歌が誕生します ●子ども達との意見交換会●

「いいたて希望の里学園」の校歌(作詞)をお願いしている俳人の黛まどかさんが来校し、子ども達と校歌制作について、意見を交わしました。



新しい学校の校歌の作詞は、俳人の黛まどかさんに依頼しました。黛さんは、村の魅力を広く伝える「まてい大使」の一人。小中学生の想いを直接聞こうと、9月7日来校しました。

中学生は、豊かな村の自然、村民の優しさ、伝統芸能などについて語り、「未来」や「希望」が感じられる言葉を取り入れてほしいと話しました。

小学生は、村の自然や伝統について学んだことや、村民との交流について発表。また、夜空の美しさ、冬の遊びの楽しさなどを村の魅力として挙げ、「村民が助け合って暮らしていることも歌詞にこめたい」と伝えました。

子ども達と対話した黛さんは、「避難を経て出発する新しい学校の校歌。限られた言葉にはなるけれど、子ども達の想いを込めていきたい。将来村を離れても、辛い時には背中を押してくれる、勇気づけてくれるような校歌にしたい」と思いを強くしていました。

## あふれる音楽の楽しさを体感 国立音楽大学の皆さんと共に

9月3日、国立（くにたち）音楽大学の学生54人が、小学校・中学校を訪れ、音楽の授業やミニコンサートで、児童・生徒と交流しました。

小学生を招いてのミニコンサートでは、「国音音楽合唱団」として、すばらしい合唱を聴かせました。学生が四部合唱に編曲した3小学校の校歌も披露。胸をすくハーモニイが多目的ホールに響



歌詞のシーンを演じて合唱をさらに楽しく



同大で30年ぶりに復活した「合唱行脚」での来県

くと、児童も心のこもった拍手で応えていました。演奏後、代表の児童は「たくさんの楽器が響いているようで本当にすごかった」と感動を伝えました。同行した同大の先生方からは「この学校の子ども達は、声が出ていてしっかり歌える」とおほめの言葉もいただきました。音楽が心をつなぐ、あたたかなひとときでした。

## 日本を代表するアスリートと キッズアスレティックスで交流

9月5日、草野・飯樋・白石小学校で、「キッズアスレティックス」の特別授業が行われました。これは「東京マラソン財団」が、東京マラソンチャリティ基金を活用して実施しているもので、日本を代表するアスリート5人が来校し、3～6年生と先生方に、プログラムを伝授しました。

後半には、児童と一緒に先生方も参加して、「ミニ東京マラソン」が行われました。一同は、ランナーやスタッフ、応援役などを交互に体験。多くの人に関わることで、マラソン大会の感動が生まれていることを体感していました。

児童がいきいきと楽しんだキッズアスレティックスの用具一式は小学校に贈られ、引き続き授業などで、活用されるということです。



ランナー体験の後はスタッフにも挑戦



投げるフォームや駆け足のコツも教わりました



## ヨーロッパ EUROPE × 飯舘村 「未来への翼」北欧に行く！

8月13日から20日まで、「未来への翼」北欧研修を行いました。今年は、中学生に加え、これからの村をリードしていく30代から40代の村民、スタッフ、合わせて18人が参加しました。

一行は、世界の中でも幸福度が上位のスウェーデンとフィンランドの幼児教育、高齢者福祉の取り組みを視察。中学生はホームステイを通して現地の方との交流も楽しみました。

詳しくは、10月27日の「いいたて村文化祭」で報告します。ぜひ、足をお運びください。



認知症患者の専門施設「シルビアヘメット」



ヘルシンキのウスペンスキー寺院にて



### 参加した中学生はこんなことを感じて帰国しました

- 英会話ができればもっと楽しいだろうと思った。勉強して英語が好きになりたい。
- レンタル自転車や自転車専用の道路などがあって、環境に優しい取り組みが行われていた。
- ホストファミリーと一緒にサウナに入り、裸の付き合いで仲がより深まった。
- 世界で最も早く女性の参政権を認めた北欧は、男性も女性も幸福な国々だと思った。
- 保育園でも高さのある遊具で思い切り遊ばせていて「自己責任」という考え方が徹底されていた。



ストックホルム市庁舎の「黄金の間」



日本から持参した紙風船や竹とんぼを紹介

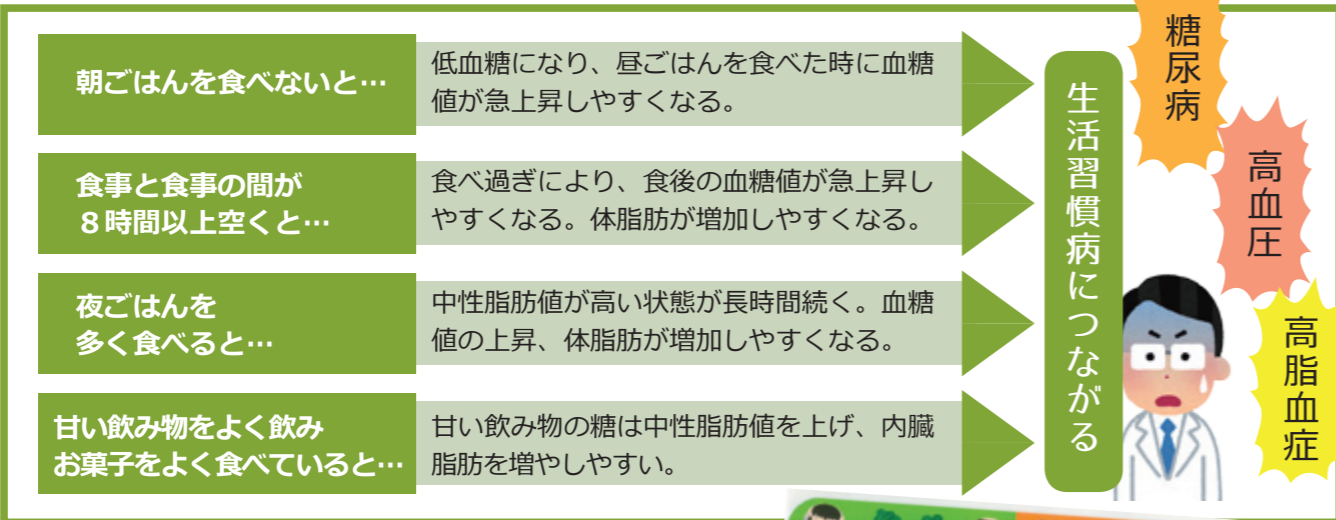
# 食事のリズムを見直して、生活習慣病を予防しよう!

## あなたの食生活をチェック! ✓

- 朝ごはんを食べないことがある。
- 食事と食事の間が8時間以上空く。
- 夜ごはんを多く食べる。
- 甘い飲み物をよく飲む。お菓子をよく食べる。

いくつかチェックがつかまりましたか? 数が多いほど、食生活が乱れている傾向にあります。

## 食生活が乱れた時に起こる身体への影響



## 食生活改善のコツ!

### ～飯館村食を考える会のバランスランチョンマット～

#### 1日3食のバランスの良い食事が基本!

「飯館村食を考える会」では、バランスのよい食事がひと目でわかるランチョンマットを作成し、敬老会で配布しました。「主食(ご飯)」「主菜(肉や魚)」「副菜(野菜や海藻)」「汁物」の4つの部分に分かれたこのマットを使うことで、家庭での食事を見直したり、コンビニやスーパーで買ったお惣菜や弁当に何が足りないのかを気づいたりできます。ぜひ活用してみてください。



家庭食での活用例

コンビニ食での活用例

## 「飯館村食を考える会」から会員募集のお知らせ

「飯館村食を考える会」は、「食」について楽しく学び、家族・地域の健康増進のために活動する自主グループです。主な活動内容として、「子ども向けの料理教室」「男の料理教室」「各行事での食育活動」などを行っています。あなたも一緒に、健康的な食生活について学んでみませんか?

健康福祉課では、ご希望に応じて、電話相談、訪問相談も行っております。「食を考える会」への入会についてもお受けします。お問い合わせは ☎0244-42-1637まで。

# 飯館村敬老会

## 長寿の秘訣は、笑うこと?!



9月8日、飯館中学校体育館で敬老会が開催され、約350人の方がふると飯館村で長寿の祝いを迎えました。

今年の敬老会に招待されたのは75歳以上の1066人。村、県老人クラブ連合会などから祝いの品が贈られました。

会では、参加者を代表し、飯樋善二郎さん(上飯樋)が「避難生活を経験し、村での生活がどれほど大切だったかを思い知った。村で敬老会を迎えられてうれしく思う」と謝辞を述べました。



お笑いコンビ「母心」による爆笑のステージ!

## 結婚50年を迎えらえた13組の金婚夫妻を表彰!

- 武田 守さん・栄子さんご夫妻(草野)
- 福井良夫さん・洋子さんご夫妻(草野)
- 渡邊守男さん・里子さんご夫妻(小宮)
- 阿部久夫さん・トヨさんご夫妻(宮内)
- 今野茂之さん・ヨシイさんご夫妻(前田・八和木)
- 星 崎さん・初江さんご夫妻(前田・八和木)
- 横山正秀さん・ユキイさんご夫妻(前田・八和木)
- 桑折 光さん・利恵子さんご夫妻(上飯樋)
- 須藤留吉さん・トメ子さんご夫妻(比曾)
- 鳴原誠一さん・タキ子さんご夫妻(長泥)
- 菅野 敬さん・皆子さんご夫妻(関根・松塚)
- 齋藤政行さん・節子さんご夫妻(前田)
- 武藤孝一さん・やい子さんご夫妻(二枚橋・須萱)

これからも末永くお幸せに。



金婚夫妻代表  
菅野敬さん・皆子さん

敬老会には、相馬農業高校飯館校から毎年心を込めた祝いの品をいただいていたが、同校の生徒募集の停止に伴い今回が最後となりました。村は、長年の取り組みに深謝し、同校に感謝状を贈りました。

## までのりの里のこども園



歌と踊りのプレゼント

## 飯館村婦人会



大切に使うって、  
くださいね♡  
家庭クラブより



## 元気いっぱい活動したよ！ いいたてキャンプ

8月31日から一泊二日で、生涯学習課主催の「いいたてキャンプ」が行われました。開催場所は、「宿泊体験館きこり」です。

当日は、事前に申し込みをしていた3組の親子が、きこりに集まりました。木製の用具を使って火おこしをしたり、バーベキューをしたり、花火をしたり。キャンプならではの体験を通して、それぞれの親子が、夏休みの特別な時間を楽しんでいました。また、さまざまな活動で協力をしながら、親子同士も親睦を深めました。



キャンプの夜を  
満喫しました

## トレーニングルームで開催 体力・運動能力測定会

8月18日に、「いいたてスポーツ公園」で実施された「体力・運動能力測定会」。村のスポーツ委員が測定員を務め、握力・長座体前屈・反復横跳び・シャトルラン(往復持久走)などの測定を行いました。測定結果がスポーツ庁の調査にも生かされることから、調査への協力者も、この測定会に参加しました。スポーツ庁は、日本人の体力・運動能力について、全国一斉の調査をしていて、県を通じて村へも調査の依頼が来ています。今回の調査協力は、震災後初めて再開されたものです。



測定は和やかな雰囲気で行われました。測定結果から分かる「体力年齢」も今後の生活の参考に！

## 手づくりの灯りを楽しもう オイルキャンドル講習会

9月10日、ほばらや生花店(川俣町)に勤務する佐藤厚子さんを講師に、交流センター「ふれ愛館」で、生涯学習事業「オイルキャンドル教室」が開かれました。オイルキャンドルとは、プリザーブドフラワーと専用オイルを容器に入れてつくるキャンドルです。19人の女性が参加して、教室は和やかな雰囲気で行われました。初めにオイルキャンドルについて説明を受け、それぞれ好きなプリザーブドフラワーを選んで製作をスタート。イメージをふくらませながら、素敵な作品を完成させました。



「楽しかった」と参加者の皆さん。  
前列中央が講師の佐藤さんです



## あったか笑顔の交流 第2回「福祉チャリティー祭り」

8月25日、交流センター「ふれ愛館」で、第2回「福祉チャリティー祭り」が開かれました。この催しは、飯館村社会福祉協議会の主催。「いきいき楽しい いいたて福祉まつり」をテーマに、関係団体やボランティアグループが、活動報告の展示などを行いました。また、数多くの協力団体が、趣向を凝らした飲食コーナー、音楽や舞踊のステージで来場者をもてなし、バザーや特産品の販売も行いました。会場内はどこも、やさしい笑顔の交流でにぎわっていました。



協力団体の一つ「奈良楽しくコーラス」によるステージ。音楽を通して来場者と交流しました

## 投打にわたり活躍するも惜敗 市町村対抗軟式野球大会

9月7日に開幕した第13回市町村対抗福島県軟式野球大会。飯館村チームは、同15日、伊達市の「ほばら大泉球場」で、1回戦に臨みました。村チームは、対戦相手の大玉村チームに対して、草野隆洗投手の好投、積極的な走塁などで、優位に試合を展開。小刻みに得点を重ね、4対2でリードしたまま最終回を迎えましたが、好機を生かした大玉村に3点を奪われ、あと一歩のところまで二回戦進出を逃しました。惜しい試合でした。選手皆さんの活躍、おつかれさまでした。



さわやかな青空の下で、熱戦が繰り広げられました。左上の円内は先制のホームに滑り込む草野投手

## “よい仕事おこし”フェア 実行委員会と包括連携協定

8月23日、村は、全国の信用金庫でつくる「“よい仕事おこし”フェア実行委員会」と、地域振興・復興促進に向けた包括連携協定を結びました。締結式は、村役場で行われ、同委員会の事務局を務める城南信用金庫の川本恭治理事長、あぶくま信用金庫の太田福裕理事長、菅野村長が協定書に署名しました。10月7・8日には早速、東京国際フォーラム(東京都)で行われる「“よい仕事おこし”フェア」に村が初出展する予定で、村内産のカスミノウやトルコギキョウの展示も行われます。



左から、門馬副村長、菅野村長、太田理事長、川本理事長、までい大使の佐川旭さん。出席者の記念撮影で

その  
ところはっ  
教えてください  
そのワケを  
#5



今年の縮刈りの時の  
スナップ写真。

いだてん金栗四三もいるよ



よしこちゃん  
(美容師さんのハット  
練習人形から転職)

會田 ツタ枝 さん  
伊丹沢

再現度がすごい!

青空に映えるユニークなカカシ達！思わず車を停めて眺めてしまった人もいたのでは？現場は伊丹沢、會田征男さんの水田です。征男さんの妻・ツタ枝さんに、そのワケを聞くと…。「ボランティアに来てくれるのよ。道具は持参、シ班々がつくるのよ。道具は持参、家の周りにある物も材料にして」と教えてくれました。ボランティアの皆さんは、関東地方の方が中心で、居住地も職業も年齢もさまざま。會田さん夫婦が力を注ぐ「飯館復興の桜」の並木の手入れや、米作りの手伝いに、たびたび會田家を訪れています。

「お母さんって呼んでくれるの」とツタ枝さん。「行ってもいい？お前は持つて行くからご飯炊いていてくれる？」と連絡が来ることもあるとか（本当に実家みたいですね）。メンバーは離れに泊まり、飯館ライフを満喫しながら、ボランティア活動を行います。「ここが大好きって言うてくれて、私達は言葉では言い表せないくらい、元氣をもらっているの」。間もなく稲刈りです。カカシ達も皆さんの笑顔を心待ちにしています。

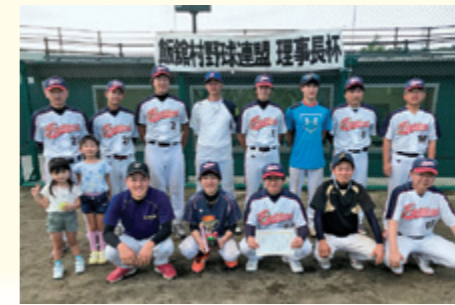
話題の  
パレット

身近な話題を  
お寄せください  
☎0244-42-1613

爽快に晴れ渡った  
青空の下、「いい  
たて球場」に球音  
が響きました。



8月25日、「いいたて球場」で開催された毎夏恒例の野球大会「飯館村野球連盟理事長杯」。村内の企業や行政区がつくる7チームが、和気あいあいとした雰囲気、かつ熱いゲームを展開しました。



昨年に続いて  
「ファイターズ」が  
優勝しました！

9月14日、「刃物の館やすらぎ工房」飯館工場火入れ式が行われました。村への新規の企業進出は、震災後初めて。続いて行われた開所式では、関係者が今後への期待を語り合いました。



工場では神事を行い、炉に火を入れました。火入れ式では、工場の4代目鍛冶職人の貴大さんが鋼（はがね）を強く打ち熱させて火を起し、その火を炉に入れました。

工房主催の開所式は、交流センター「ふれ愛館」で行われました。あいさつで感謝と抱負を語る工場の二瓶信男代表。あたたかなお人柄と職人としての誇りが伝わりました。



いただいた仕事を一つひとつついでいかに、まていにやっていく。お客様に喜んでいただけるよう熱意をもってやっていきたい。

教えてください おすすめの本

募集期間 10月15日(火)から11月8日(金)

読書メッセージコンテスト

自分が読んだ中からおすすめの本を  
みんなに伝えるメッセージ。  
100字程度で募集します。

- 最優秀賞 1人(5,000円分図書カード)
- 優秀賞 6人(3,000円分図書カード)
- JPIC賞 7人(3,000円分図書カード)

応募用紙は9月に全戸配付しております。また、HPからも取得できます。応募ポストは、役場窓口と交流センターに設置します。郵送やメールでも応募できます。

交流センター「ふれ愛館」(飯館村 生涯学習課)  
〒960-1801 飯館村草野字大師堂17  
☎ 0244-42-0072  
✉ kouminkan@vill.iitate.fukushima.jp

大変でもやってみれば面白んだよね。十分に検査を受けて出荷を目指します。



畑がやわらかな緑に染まっています。目黒正光さん(伊丹沢)が、地域の人から借りた農地につくりあげた畑です。農業用機械も借りながらの新たな挑戦でしたが、見事な白菜が一面に並びました。



苦さ味、甘さ味

こころの  
ぽけっと

「苦さの味を知らぬ者は、甘さも分らない」という言葉を聞いたことがあります。多分、苦しい経験をしたことのない者は、人生の本当の良さも喜びも分からないのではないかと、もっと言えば苦さを知ってこそ、甘さも分かるということかもしれません。

だからといって何も無理をして、つらい目に遭ったり、悲しい事を経験したりする必要はないのですが、生きていく上で、誰であろうと、多少の違いはあっても、つらい目や悲しい目に出会うことは必ずあるはずで、その時に、そのつらい事、悲しい事にくじけずにやっていけば、もしかしたら、それは自分を成長させる糧になるはずとも言っているのでしょうか。

私たちは、今、正に思ってもみなかった大変な経験を7〜8年もしてきた訳です。それゆえ、次々とやってくる他の災害や人の苦しみに対しても、自分の事として、「大変だろうな」と心を寄せられる人になっている方が多いのではないのでしょうか。

つらい事や悲しい事、困難な事を経験した人が、人間性において、一味も二味も違う人になったり、心の優しさを持ち合わせるようになったりするのは、心も強くなるといえるでしょう。

「困難に遭ったら、問題というよりチャンスと考えよう」「つまずいたお陰で、人のやる事をあたたかな目で見られるようになった」「美しいバラは、トゲの上に咲く」「人間の目は、失敗の時にはじめて開く」「我々が征服するのは、山ではなく、自分自身です。」

令和元年9月10日 飯館村村長 菅野 典雄

までいの里の  
こども園

きてみて

までいの里のこども園

家庭的な雰囲気、子ども達の心と身体をまでいに育む村立のこども園です。アート作品がさりげなく置かれた明るい園舎で、0歳児から5歳児までがワクワクいっぱいの毎日を送っています。

飯館村伊丹沢字山田380番地

園舎開放に来てみませんか

10月30日(水)9時から、未就園児を対象にした園舎開放を予定しています。申し込みは不要ですので、ぜひおいでください。

令和2年度園児募集について

来年度入園する園児の募集については、11月の広報などでお知らせします。詳しくは下記までお問い合わせください。

問 までいの里のこども園  
☎0244-42-0229

問 飯館村教育委員会  
☎0244-42-1631



遊具や砂場のある園庭でのびのび遊ぼう



園内で手作りされる栄養満点の給食♡

上田和昌さんの

ラオス通信。

vol.5

首都ヴィエンチヤンの観光地

東京オリンピック・パラリンピック2020で村が「復興『ありがとう』ホストタウン」を務めるラオスってどんな国？上田さんのレポートで素朴な疑問に応えます。きっとラオスが身近になりますよ！



上田さんは山梨県の出身。ラオス国立大学で活動する青年海外協力隊の隊員です。

先日、双子の兄がラオスを訪れたので、首都「ヴィエンチヤン」や、街が丸ごと世界遺産に登録されている「ルアンパバーン」の観光案内をしてみました。

私の活動地であるヴィエンチヤンには、「パトウーサイ」と呼ばれる戦死者慰霊の塔、黄金の仏塔「タートルアン」「仏像彫刻が並ぶ公園「ブッダパーク(ワット・シエンクワン)」などの観光名所があります。

●パトウーサイ●  
戦士した兵士の霊を慰めるためパリの凱旋門をモデルに建てられた戦没者慰霊塔。建築が始まったのは1967年ですが、内部の工事は今も未完成とのこと。

●タートルアン●  
仏教国でもあるラオス。黄金の塔の中には、ブッタの骨(仏舍利)が納められていると言われます。11月には、ラオスで最大規模のお祭り「タートルアン祭り」が開かれます。

●ブッダパーク(ワット・シエンクワン)●  
多くの仏像彫刻が無造作に置かれている公園です。ブッダパークは、1958年、宗家であり芸術家でもあったタイ出身のブルア・スリーラット氏によって創建されたそうです。園内には、200体にも及ぶ仏像彫刻が並んでいますが、すべて1人で作り上げたと言われています。

周辺に寺院や宮殿もあります

上層階には展望室が

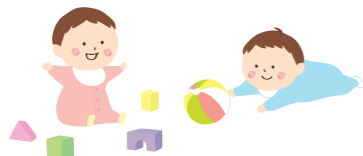
パトウーサイの前で。左が上田さん、右が兄の周平さん



今回はラオスの急速な発展と「エコヘルス教育」について紹介します！

誕生おめでとう

赤ちゃんの名前	親の氏名	行政区
遠藤 玲奈ちゃん	利正・ペビールマ	草野
渡邊 滯くん	宏和・明美	小宮



すくすくと元気に育ってね

おくやみ

氏名	年齢	行政区
佐々木 市郎	94	八木沢・芦原
池田 ハルヨ	96	大久保・外内
藤井 シギ	98	上飯樋
庄司 直	91	伊丹沢
細川 菊太郎	83	上飯樋
高野 上	81	小宮
古川 信	82	飯樋町

ご冥福をお祈り申し上げます



(8月21日から9月20日までに届け出のあったものを掲載)  
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

ひとのうごき

(令和元年8月31日現在)

人口	今月(前月比)
男	2762人(-13)
女	2777人(-11)
計	5539人(-24)
世帯数	1818戸(±0)

8月1日~31日までの

◆人口動態◆

転入	2人
転出	23人
出生	2人
死亡	5人
(住民基本台帳人口)	



一つひとつの仕事をまでいに  
やすらぎ工房 飯館工場 (草野)

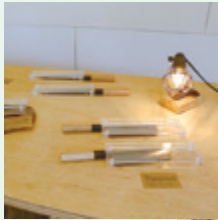
HOPES

ホープス セカンド  
2nd

福島市の刃物店「刃物の館やすらぎ工房」の飯館工場が、9月14日、開所の日を迎えました。工場は、旧草野幼稚園を改修した建物で、刃物製造の全工程をまかなう作業場が整えられました。



やすらぎ工房の皆さん。右から二瓶代表、長男の貴大さんとその婚約者・高橋麻美さん、代表の妻・つや子さん、長女の菅藤奈央子さん。開所式の会場にて。



工場併設のギャラリー。展示の刃物を購入することもできます。営業時間は午前10時から午後5時。不定休なので、訪ねる際には電話でご確認を。  
☎0244-42-0333 (飯館工場)

この日は工場に関係者を招いて、神事と火入れの式を行い、交流センター「ふれ愛館」で開所式を行いました (P.26に関連記事)。

「手づくりの刃物は、やる人によってできが違う。努力によって商品に大きな差が出るものなんです」と二瓶代表。「自らの力を養い、会社の力を養い、毎日を積み重ねて成長したい」と語ります。「仕事や生活をしていくと、次から次へと問題は生まれるもの。熱意を持ってやるかやらないかです」。

鍛冶職人として研鑽を積む貴大<sup>たかひろ</sup>さんは工房の4代目。福島市立子山に鍛刀場を持つ藤安将平刀匠に師事して、刀鍛冶の資格取得も目指しています。「この場所で、一生がんばっていききたいです」。

今後は、体験教室なども開いていこうと考えているそう。飯館村に、まδειなものづくりの槌音が響きます。

〈編集後記〉

●ラオスパラ選手団が来村。来年の東京五輪に向けて期待が高まってきました。※観戦チケットは取れていません。選手の方々と交流してみても、言葉が通じればベストですが、「伝えたい」という心があれば何とか伝わるものと実感。でもやっぱり、来年までには「ラオス語」ほんの少しでも喋られるようになってほしいです。(木幡)

●台風の影響で交通網が乱れる中、乗り物を取り継いで到着したラオスの皆さん。緊張しつつも笑顔を決やさず関係者の歓迎を受けました。そして約10日間の合宿。国を代表するパラアスリートとしてスポーツに向き合う姿、感謝を忘れない謙虚なふるまい、来日を心から楽しんでる様子に、尊敬と親しみを感じた日々でした。またあの笑顔に会えますように。(星)



飯館村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。